SONY

232029205 (1)

ビジュアルICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IC RECORDER

ICD-CX50

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

© 2005 Sony Corporation　Printed in China

http://www.sony.co.jp/

安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。
- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号
火災　感電

行為を禁止する記号
禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　接触禁止

行為を指示する記号
指示

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない
- 自動車、オートバイなどの運転をしながらイヤーレシーバーなどを使用したり、細かい操作をしたり、液晶画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない
禁止
万一、水や異物が入ったときは、すぐにACパワーアダプターをコンセントから抜いてお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない
禁止
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

国内専用機は海外で使用しない
指示
付属のACパワーアダプターは、日本国内専用です。
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

指定以外のACパワーアダプター、コードなどを使わない
禁止
破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない
接触禁止
感電の原因となります。

⚠注意 **下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

内部を開けない
分解禁止
感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない
禁止
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤーレシーバーで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない
禁止
突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターや充電器をさわらない
ぬれ手禁止
感電の原因となることがあります。

通電中のACパワーアダプターに長時間ふれない
禁止
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない
禁止
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない
禁止
レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上の ご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険 充電式電池について
- 指定されたACパワーアダプター以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。

お願い
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページhttp://www.jbrc.net/hp/contents/index.htmlを参照してください。

リチウムイオン電池はサービスで交換することを推奨しております。交換後、リチウムイオン電池は充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

海外での充電式電池の廃棄について
各国の法規制にしたがって廃棄してください。

充電しても充電池の持続時間が短くなった場合はソニーサービス窓口にご相談ください。

- 本製品の不具合により、録音および撮影ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合、録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- お客様が撮影した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権に関わる画像の伝送は、著作権法上の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音や撮影内容は、必ず予備としてVisual and Voice Editorを使ってパソコンに保存してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について
- Microsoft および Windows は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。
- Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

▶はじめに

ビジュアル IC レコーダーとは？

ビジュアルICレコーダーでできること
ビジュアルICレコーダーICD-CX50では、音声を用件として録音しながら、複数の画像を用件の任意の場所にブックマークとして追加することができます。例えば、会議録音中に、重要な発表を行っている人を撮影したり、新製品説明会で話題の製品を撮影したり、用件検索用、参照用に様々な使いかたができます。

（用件先頭に自動で付く画像なしブックマーク）　ブックマーク　ブックマーク
VOICE
ブックマーク付き用件
用件の録音を開始する。　重要な発表時、発表者を撮影　新製品を撮影

記録したブックマークは、用件再生時に検索用に使ったり、用件リストにタイトル画像として表示することができます。

録音できる用件の種類
- 音声を録音しながら画像を撮影する：**画像ブックマーク付き用件**
  音声を録音しながら、画像をブックマークとして追加できます。用件には音声と画像の両方が録音されます。
- 音声のみを録音する：**音声のみの用件**
  画像を撮影せず、音声だけを録音した場合は、画像のない音声のみの用件が録音されます。画像（ブックマーク）は後から追加することができます（ブックマークの追加）。
- 画像だけを撮影する：**画像のみの用件**
  画像だけを撮影した場合は、用件には音声はなく画像だけが記録されます。音声は後から追加することができます（アフレコ）。

様々な再生、編集機能
- 画像のみの用件に音声を追加する－アフレコ
- 用件を再生しながら、任意の場所に画像を追加する－ブックマーク追加
- 用件の音声だけを再生する
- 用件を再生しながらブックマークを表示する
  記録したブックマークは音声の再生中に表示することができます。また、ブックマークを選択してフルスクリーンで表示することもできます。また、ブックマーク間をリピート再生したり、消去したり、ブックマークを使って用件を検索することができます。
- PCに接続する
  付属のVisual and Voice Editorを使って本機で録音した用件をパソコン上で再生、編集および保存ができます。

「ライブビュー（Live View）」とは？
本機で画像を撮影するには、レンズが撮影可能な位置にあり、レンズからの映像が画面に表示されている必要があります。この撮影可能な状況を「ライブビュー（Live View）」と呼びます。ライブビューは以下の手順で起動します。
1. レンズ部をカメラ位置（カメラオン/セルフ）まで回転する。
2. 画面カバーを開ける。
3. （カメラ）または CAPTURE（撮影）を押す。ライブビューが起動され、画像が撮影可能になります。

▶準備

手順 1：内蔵電池を充電する

付属のACパワーアダプターを、本機のDC IN 6Vジャックとと壁のコンセントにつなぐ。

壁のコンセントへ
ACパワーアダプター（付属）
DC IN 6Vジャックへ

充電が始まり、CHG（充電）ランプが点灯します。CHGランプが消灯したら充電が完了です。（充電には約2時間30分かかります。）
お買い上げのあと、初めて充電したときや、　長い間お使いにならなかったときは、「時計を設定してください」が表示されます。「準備2: 時計を合わせる」をご覧になり、時計を合わせてください。

ご注意
- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一型プラグ•JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

極性統一型プラグ

- すでに充電された状態で、再度充電すると、CHGランプはすぐに消灯します。
- 長い間使用していない場合、本機をご使用になる直前に充電してください。この場合、時計設定が取り消されている場合があります。この場合は時計を合わせ直してください。

アクセス中のご注意
- 画面上に「Access」表示が出ている間や、REC/PLAY（録／再）ランプがオレンジに点灯または点滅している間は、メモリーへアクセス中です。アクセス中は、付属のACパワーアダプターやUSB接続ケーブルを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- 画面上に「Access」表示が出ている間は、操作はできません。
- 用件数が多いと、「Access」表示が長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。

画面自動消灯機能（待機モード）
15秒間操作しないと、本機の画面は自動的に消灯し、低消費電力待機モードに入ります。表示を出すには、いずれかの操作ボタン、キーを押します。

電池の残量表示
電池の残量がなくなってくると、画面の表示でお知らせします。

: 「電池が残りわずかです」が表示されます。充電してください。
↓
: 「充電してください」が表示され、操作ができなくなります。充電してください。

内蔵電池の持続時間*

録音モード：	STモード	STLPモード	SPモード	LPモード
連続音声録音時：	約10時間30分	約13時間	約11時間30分	約14時間
連続音声再生時**:	約9時間30分	約10時間	約11時間	約12時間

* 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
* HOLD ON時。
** 音量レベルが中間付近で内蔵スピーカーで再生した場合。

手順 2: 時計を合わせる

録音および撮影した日時を記録するためには、本機の時計合わせをしておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を充電したときや、電池残量がなくなったまま長時間お使いにならなかったあとに電池を充電したときは、「時計を設定してください」が表示されます。HOLD（ホールド）モードを解除してから以下の手順で時計を合わせてください。

コントロールキーを上/下/左/右（▲/▼/◀/▶）方向に押して項目を選び、中央を下（▶II）に押して決定する。
（本書では、この操作を下記のように説明します。）
▲（I◀◀）を押す
▶を押す
◀を押す
▶IIを押す
▼（▶▶I）を押す

1 ▲/▼で「年」の数字を選ぶ。
▲: 数が減ります。
▼: 数が増えます。

時計設定
2005y 1m 1d 0:00

2 ▶IIを押す。
「月」の数字が選択されます。

時計設定
2005y 5m15d15:30

3 手順1と2を繰り返して、同様に「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。
時刻は24時間表示です。
☞**左右の項目に移動するには**
左の項目に戻るには◀を、右の項目に移動するには▶を押します。

☞**操作をやり直すには**
◀を押します。ひとつ前の操作に戻ります。

ご注意
▶IIを押さずに1分以上たつと、時計合わせがキャンセルされ、通常の表示に戻ります。

4 ■（停止）を押す。
通常の画面に戻ります。

ご注意
録音や再生をしていないときに時計設定をしてください。

時計設定画面を表示して設定を確認、変更するには
1. MENUを1秒以上押す。
   メニューが表示されます。
   メニュー　録音モード　アフレコ　消去　表示設定　ステレオ(ST)
2. ▲/▼を押して「時計設定」を選ぶ。
   右下に現在の設定時刻が表示されます。
   メニュー　表示設定　画サイズ　再生設定　時計設定　手動　0:00
3. 時計を合わせるには、▶IIを押して、時計設定画面を表示する。
   時計設定　自動　手動　戻る
4. ▲/▼を押して「手動」を選び、左の手順に従って時計を合わせる。
   時計設定　2005y 5m15d15:30

「自動」に設定すると
Visual and Voice Editor起動中に本機を接続すると、自動的にパソコンの時間に設定されます。

▶基本的な使いかた

画像を撮影しながら用件を録音する

音声を新規用件として録音しながら、画像をブックマークとして追加することができます（画像ブックマーク付き用件）。1つの用件に、最大で99個のブックマークを追加することができます。
初期状態では、5つのフォルダ（FOLDER01〜05）があり、各フォルダ内に最大で99件まで用件を録音できます。また、付属のVisual and Voice Editorを使って新しい用件フォルダを追加すれば、メモリー全体では最大で1,000件の用件を録音できます。
用件は、自動的にフォルダの一番最後の部分に追加されるので、テープのように録音されていない部分を探す必要がなく、すぐに録音が始められます。例：

用件1	用件2	新しい用件	空きスペース

1 HOLD（ホールド）モードを解除して、画面カバーを開ける。

①回転レンズ部を●（HOLD解除／カメラオフモード）の位置で止まるまで廻す。
②画面カバーを上に上げ、画面を表示する。

用件がありません
ST　000/000

15秒間操作しないと、画面は自動的に消灯し、低消費電力待機モードに入ります。表示を出すには、いずれかの操作ボタン、キーを押します。

2 音声の録音を始める

①停止中に、REC/PAUSE（録音／一時停止）を押す。
REC/PAUSEは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

②内蔵マイクに向かって話す。

* メニューの「表示設定」で設定したカウンター表示が表示されます。

3 画面にライブビューを表示する

回転レンズを●（HOLD解除／カメラオフモード）の位置からさらに、次にカチッと止まる位置（カメラオンモード）まで回転させる。
カメラが起動し、レンズのライブビューが画面に表示されます。

ライブビューを起動後30秒間なにも操作をしないとライブビューが終了します。

4 画像（ブックマーク）を撮影する

（カメラ）
画面からライブビューが消えているときは、（カメラ）を押して、ライブビューを表示します。

①ズーム倍率を調節する。
I◀◀: 倍率が減ります（最小で等倍まで）。
▶▶I: 倍率が増えます（最大で4倍まで）。

②CAPTURE（撮影）を押す。
ライブビューの画像がブックマークとして記録されます。ひとつの用件について最大で99のブックマークを追加することができます。

5 録音を止める

■（停止）を押す。
今録音した用件のはじめで停止します。
用件で最初に追加したブックマークが用件のタイトル画像として表示されます。

ST　001/001
0:00:00

その他の操作

録音を一時停止する*	REC/PAUSE（録音／一時停止）を押す。 録音一時停止中はREC/PLAYランプが赤く点滅し、カウンター表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度REC/PAUSE（録音／一時停止）を押す。 先ほど録音していた用件に続けて録音することができます。
今録音したばかりの用件を聞く	■（停止）を押して録音を停止し、▶IIを押す。 今録音した用件のはじめから聞くことができます。

* 録音を一時停止して約10分たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

最大録音可能時間
メモリー の最大録音時間は、全フォルダ合わせて下記のようになります。ひとつのフォルダに最大録音時間まで録音することもできます。

録音モード*	連続録音時間
ST	約11時間30分
STLP	約22時間5分
SP	約35時間
LP	約93時間30分

* STモード：ステレオ標準モード
STLPモード：ステレオ長時間モード
SPモード：モノラル標準モード
LPモード：モノラル長時間モード

録音時のご注意
- より良い音質で録音したいときは、メニューの「録音モード」でSTまたはSTLPモードを選んでください。
- 録音を始める前に必ず電池残量表示を確認してください。
- 録音モードを混在して録音した場合や複数の用件を録音した場合、最大録音時間は任意に変化します。
- （マイク）ジャックに外部マイクをつないでいるときは、内蔵マイクでの録音はできません。つないだ機器またはコードを外してください。

フォルダを選ぶには
新しく録音する用件は、現在選択されているフォルダ内に保存されます。フォルダを選んで用件を保存することもできます。選択方法は、裏面の「フォルダ、用件、ブックマークを検索する」をご覧ください。

録音中の音を聞くには—録音モニター
録音中は、付属または別売りのイヤーレシーバーを（ヘッドホン）ジャックに差し込むと、イヤーレシーバーから録音をモニターできます。モニター音はVOL（音量）+/−ボタンで調節できます。（録音レベルは一定です。）

ご注意
録音モニター中に音量を上げすぎたり、イヤーレシーバーを本体に近づけすぎたりすると、イヤーレシーバーの音を内蔵マイクが拾い、ピーッという音（ハウリング）が生じることがあります。

デジタルズーム機能を使う
ライブビュー起動時に▶▶I/I◀◀を押して、デジタルズーム機能により、画像を拡大、縮小することができます。

近接撮影— マクロ撮影
花や昆虫など、小さな被写体に接近して撮りたいときは、近接（マクロ）スイッチを「」（マクロ）側にスライドさせます。詳しくは、裏面の「近接撮影をする— マクロ撮影」をご覧ください。

自分撮り撮影－セルフ撮影
回転レンズを最後まで廻し、カチッと固定する位置（カメラオン（セルフ）モード）にすると、レンズが手前にきて、自分を撮影することができます。詳しくは、裏面の「自分撮り撮影をする－セルフ撮影」をご覧ください。

音声だけの用件を録音するには
回転レンズ部を●（HOLD解除／カメラオフモード）の位置で止まるまで廻してHOLD（ホールド）機能を解除します。

REC/PAUSEを押すと、新しい用件を録音します。画面カバーを閉めた状態で録音ができます。また、音声だけを録音する場合は、回転レンズは●（HOLD解除／カメラオフモード）から先の位置（カメラオンモード、カメラオン（セルフ）モード）に廻す必要はありません。

ご注意
メモリーが一杯になってしまった場合は、パソコンと本機をUSBケーブルで接続し、付属のVisual and Voice Editorを使って、パソコンに用件のバックアップを保存してください。
不要な用件を削除してメモリーの空き容量をつくることができます。

録音した用件を聞き、画像を表示する

次の手順で今録音した用件の音声を聞き、ブックマーク画像を表示できます。

1 再生を始める

REC/PLAYランプ
（再生中は緑に点灯）

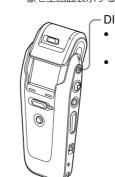
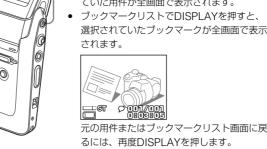
① ▶IIを押す。
フォルダ内の最後の用件まで連続再生します。最後の用件の再生が終わると、その用件のはじめに戻って停止します。

選んだ用件番号/フォルダ内の総用件数
ST　001/001　0:02:10
カウンター表示*

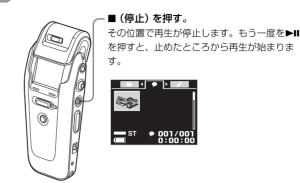
（ヘッドホン）ジャック

② VOLボタン+/-で音量を調節する。

* メニューの「表示設定」で設定したカウンター表示が表示されます。

再生する用件を選ぶには
以下の手順でフォルダと用件を選択します。
1. フォルダリストタブで、再生、表示したい用件を保存したフォルダを選ぶ。
   選択方法は、裏面の「フォルダ、用件、ブックマークを検索する」をご覧ください。
2. 用件リストタブで▲/▼を押し、再生したい用件を選択する。

用件リストとブックマークリストを切り換えるには
▶/◀を押します。
用件リストタブには、現在フォルダリストタブで選択されているフォルダ内の用件のタイトル画像がリスト表示されます。
ブックマークリストタブには、現在用件リストタブで選択されている用件のブックマークがリスト表示されます。
用件リストまたはブックマークリストタブで▲/▼を押して、用件またはブックマークを検索できます。

2 画像を全画面表示する

再生中に、用件リストまたはブックマークリストで選択している画像を全画面表示することができます。

DISPLAY（表示）を短く押す。
- 用件リストでDISPLAYを押すと、選択されていた用件が全画面で表示されます。
- ブックマークリストでDISPLAYを押すと、選択されていたブックマークが全画面で表示されます。

元の用件またはブックマークリスト画面に戻るには、再度DISPLAYを押します。

3 再生を停止する

■（停止）を押す。
その位置で再生が停止します。もう一度を▶IIを押すと、止めたところから再生が始まります。

その他の操作

再生を一時停止する*	▶IIを押す。 再生一時停止中はREC/PLAYランプが緑に点滅し、カウンター表示が点滅します。 もう一度▶IIを押すと、その位置から再生を開始します。
今聞いている用件の頭に戻る	▲（I◀◀）を短く1回押す。
前の用件、さらに前の用件に戻る	▲（I◀◀）を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。）
次の用件に進む	▼（▶▶I）を短く1回押す。
さらに次の用件に進む	▼（▶▶I）を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して進みます。）

* 再生を一時停止して約10分たつと、再生一時停止は解除され、停止になります。

再生中に早送り／早戻しする－キュー／レビュー
- 早送り（キュー）：再生中に▼（▶▶I）を押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：再生中に▲（I◀◀）を押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。しばらくそのままにすると、高速での早送り／早戻しになります。早送り／早戻し中は、表示設定の「カウンター表示」の設定に関係なく、経過時間が表示されます。

高音質で再生するには
- イヤーレシーバーで聞く: 付属または「主な仕様」に記載されている別売りのステレオイヤーレシーバーを（ヘッドホン）ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く:別売りのアクティブスピーカーを（ヘッドホン）ジャックにつないでください。

小さな音を聞きやすい大きさに調節する—V-UP（デジタルボイスアップ機能）
V-UPスイッチを「ON」にすると、聞き取りにくい小さな音も大きな音で再生することができます。全体の録音レベルを最適化することで、バランスの良い、聞き取りやすい再生音になります。
☞**通常の再生音に戻すには**
V-UPスイッチを「切」の位置に戻します。

音声のみを聞くには
画面カバーを閉じた状態で用件を聞くことができます。

設定を変える－ メニュー一覧

以下の手順にしたがってメニューで設定を変更できます。なお、設定できる項目は動作モード（停止中、再生中、録音中、ライブビュー起動時）によって異なります。

こんなときは	操作
1メニューを表示する。	MENU（メニュー）を1秒以上押す。
2 設定したい項目を選ぶ。	▲/▼を押して、▶IIを押す。
前の項目に戻る。	▲/▼を押して「戻る」を選び、▶IIを押す。 （画面に「戻る」表示がない場合などは、◀を押す。）
3 項目を設定する。	▲/▼を押して、▶IIを押す。
4 メニューを終了する。	■（停止）を押すか、▲/▼を押して「メニュー終了」を選び、▶IIを押す。

ご注意
約1分間いずれのキーも押されないと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

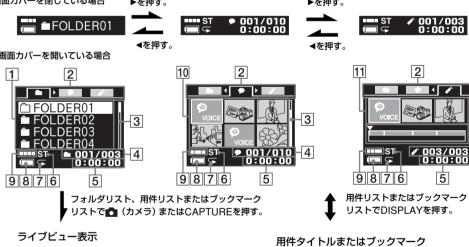
メニュー操作時の画面表示

メニュー	設定項目（*:初期設定）		停止/再生/録音/ライブビュー起動時（○:設定可能/−:設定不可）
録音モード	**録音モードを設定します。（ビットレート）** ST*： STLP: SP： LP：	 ステレオ標準モード（48kbps） ステレオ長時間モード（24kbps） モノラル標準モード（16kbps） モノラル長時間モード（6kbps）	○/−/−/−
アフレコ	**音声の録音されていない画像のみの用件に、音声を録音します。**		○/−/−/−
消去	**用件を消去するメニューを表示します。**		
	1用件消去	消去したい用件を選択することで、その用件を消去できます。	○/○/−/−
	フォルダ内全消去	現在選択されているフォルダ内の全用件を消去します。	○/−/−/−
	ブックマーク消去	現在選択されている用件内の消去したいブックマークを表示、選択することでそのブックマークを消去できます。	○/○/−/−
	区間消去	ブックマーク間を消去する画面を表示します。消去したい区間の最初のブックマークを選択することで、選択したブックマークと次のブックマークの区間を消去できます。	○/○/−/−
表示設定	**画面の表示設定を変更します。**		
	カウンター表示	画面に表示されるカウンター表示モードを変更します。詳しくは、裏面の「カウンター表示を切り換える」をご覧ください。 （経過時間*／残り時間／録音日付／録音時刻）	○/○/○/○
	タイトル画像	用件リスト画面で表示されるタイトル画像を変更することができます。	○/−/−/−
	バックライト	液晶画面のバックライトの点灯、消灯を設定します。 ON*: 操作時には液晶画面のバックライトを点灯します。 OFF: 操作時にも液晶画面のバックライトは消灯します。	○/○/○/○
画サイズ	**画像を記録するサイズを設定します。** 1280 x 960*: 640 x 480:	 画像は1280 x 960サイズで記録されます。より高画質での記録が可能です。 画像は640 x 480サイズで記録されます。より多くの画像を記録することができます。	○/○/○/○
再生設定	**用件を再生する場合の再生速度（DPC）や区間リピートの設定を切り換えます。**		
	DPC	再生スピードを設定します。 OFF*:　用件は通常の速度で再生されます。 ON:　通常の2倍（+100%)から半分(-50%)の間で設定した速度で再生されます。	○/○/−/−
	区間リピート	ブックマーク間リピート再生を有効、無効に設定します。 OFF*:　再生すると、選択している用件の最初からフォルダ内の最終用件まで連続再生されます。 ON:　再生すると、2つのブックマーク間を繰り返し再生します。	○/○/−/−
時計設定	**時計設定モードが選べます。** 自動*: 手動:	 Visual and Voice Editor起動時にパソコンと接続した場合、自動的にパソコンの時計に合わせて時刻が設定されます。 時計設定画面が表示され、手動で日時が設定できます（05/1/1/0:00*)。	○/−/−/−
USB充電	**パソコンにUSBケーブルで接続した際のUSB経由の充電を有効、無効に設定します。** ON*： OFF:	 パソコンにUSBケーブルで接続した際に、パソコンから本機にUSB経由で充電が行われます。 USB経由の充電は行われません。	○/−/−/−
フォルダ設定	**現在選択しているフォルダのアイコンと名前（タイトル）を変更できます。** フォルダアイコン フォルダ名	 フォルダアイコンをテンプレートの中から選べます。 フォルダ名をテンプレートの中から選べます。	○/−/−/−
ビープ	**操作音の有効、無効を設定します。** ON*： OFF：	 操作時の受け付け確認音およびエラー音（ピピピピ）が鳴ります。 操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。	○/○/−/−
フォーマット	**保存されている全データを消去し、メモリーを初期化します。**		○/−/−/−

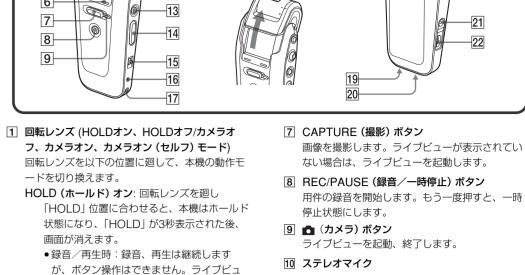
各部の名称と働き

本体

1. **回転レンズ (HOLDオン、HOLDオフ/カメラオフ、カメラオン、カメラオン（セルフ）モード)**
   回転レンズを以下の位置に廻して、本機の動作モードを切り換えます。
   HOLD（ホールド）オン: 回転レンズを廻し「HOLD」位置に合わせると、本機はホールド状態になり、「HOLD」が3秒表示された後、画面が消えます。
   - 録音／再生時：録音、再生は継続しますが、ボタン操作はできません。ライブビューを起動していた場合は終了します。
   - 停止時：低電力待機モードになります。

   ホールドを解除するには
   回転レンズを「HOLDオン」から他の位置まで廻します。
   ●HOLDオフ／カメラオフ：回転レンズを廻し「●」位置に合わせると、ホールド状態が解除され、用件を録音できるようになります。カメラは起動できません。
   カメラオン：回転レンズを「●」位置からさらに廻し、次にカチッと固定する位置で止めると、カメラ機能が働き、ライブビューが起動できるようになります。本書ではこの状態を「カメラオン」モードと呼びます。
   カメラオン（セルフ）：回転レンズを「カメラオン」位置からさらに最後まで廻し、カチッと固定する位置で止めると、レンズが手前を向きます。ライブビューが起動でき、自分撮りができるようになります。本書ではこの状態を「カメラオン（セルフ）」モードと呼びます。
2. **マクロスイッチ（オフ/オン）**
   スイッチを動かし、近接（マクロ）撮影のオン／オフを切り換えます。
   オン（）:マクロ撮影モードになります。
   オフ：マクロ撮影モードが解除されます。
3. **画面カバー**
   画面カバーを開くと、画面全体が表示できます。ライブビューが起動でき、画像の撮影ができるようになります。カバーを閉じている状態では、ライブビューの起動やメニュー表示はできません。
4. **液晶画面（内蔵スピーカー）**
   液晶画面（上部にスピーカー）については、下記の「画面の見かた」をご覧ください。イヤーレシーバーやアクティブスピーカーが接続されていない場合、スピーカーから音声が出力されます。
   ご注意
   液晶画面が汚れている場合は、付属のキャリングポーチの内側、または眼鏡拭きを使って、軽く表面を拭いてください。
5. **CHG（充電）ランプ**
   内蔵充電池を充電中に赤く点灯します。
6. **REC/PLAY（録音／再生）ランプ**
   録音時には赤く、再生時には緑に点灯します。録音／再生一時停止時には点滅します。また、データアクセス中は、赤またはオレンジに点滅します。
7. **CAPTURE（撮影）ボタン**
   画像を撮影します。ライブビューが表示されていない場合は、ライブビューを起動します。
8. **REC/PAUSE（録音／一時停止）ボタン**
   用件の録音を開始します。もう一度押すと、一時停止状態にします。
9. **（カメラ）ボタン**
   ライブビューを起動、終了します。
10. **ステレオマイク**
11. **DISPLAY/MENU（表示／メニュー）ボタン**
    短く押すと、表示ボタンとして働き、以下のように画面表示を切り換えます。
    ライブビューモード時：画像情報を表示、非表示にします。
    ライブビューモード時以外：画像リスト表示またはブックマークリスト表示と、選択画像、ブックーマークの全画面表示を切り換えます。
    長く押すと、メニューボタンとして働き、メニューを表示します。
12. **コントロールキー**
    ◀ /▶（: フォルダリスト/: 用件リスト/: ブックマークリスト)/▲(I◀◀:早戻し／ズームアウト) /▼(▶▶I: 早送り／ズームイン) /▶II (再生／一時停止／決定)
13. **■（停止）ボタン**
    操作を停止します。
14. **VOL (音量) +/– ボタン**
    再生音量を調節します。
15. **V-UP (デジタルボイスアップ) スイッチ**
    デジタルボイスアップ機能を有効、無効にします。
    オン：デジタルボイスアップ機能が有効になります。聞き取りにくい小さな音も大きな音で再生することができます。全体の録音レベルを最適化することで、バランスの良い、聞き取りやすい再生音になります。
    オフ：デジタルボイスアップ機能が無効になります。
16. **RESET（リセット）ボタン**
    本機が正常に動作しなくなった場合、先の細い棒で0.5秒間以上押してください。
17. **ストラップ取り付け部**
    ストラップ（別売り）を取り付けられます。
18. **カメラレンズ**
19. **（ヘッドホン）ジャック**
    付属または別売りのイヤーレシーバーを差し込むと、内蔵マイクロホンからの録音をモニターできます。モニター音はVOL+/−ボタンで調節できます。（録音レベルは一定です。）
20. **（マイクロホン）ジャック（プラグインパワー）**
    別売りの外部マイクを接続します。外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。
21. **DC IN 6V ジャック**
    付属のACパワーアダプターを接続します。
22. **USB端子**
    付属のUSB接続ケーブルを使って、パソコンと接続します。

画面の見かた

ライブビュー表示

用件タイトルまたはブックマーク画像の全画面表示

1. **フォルダリスト**
   フォルダのアイコンと名前が表示されます。
2. **画面切り換えタブ(: フォルダリスト/: 用件リスト/: ブックマークリスト)**
   フォルダリスト、用件リスト、ブックマークリスト表示を切り換えます。
3. **スクロールバー**
   現在表示されている用件のフォルダ内での位置を表示します。
4. **選んだフォルダ内の用件番号/総用件数**
5. **カウンター表示**
   メニューの「表示設定」の「カウンター表示」で設定した経過時間、残り時間、録音日付または録音時刻が表示されます。
6. **録音モード表示**
   メニューの「録音モード」で設定した録音モードが表示されます。
   ST：ステレオ標準モード
   STLP：ステレオ長時間モード
   SP：モノラル標準モード
   LP：モノラル長時間モード
7. **リピート再生表示**
   メニューの再生設定で、「区間リピート」が有効に設定されているときに表示されます。
8. **電池残量表示**
   ACパワーアダプター（付属）使用時は表示されません。
9. **メモリー残量表示**
   - 残量が減るとメモリー残量表示が一つずつ消えていきます。
   - 残り時間が10分を切ると、メモリー残量表示が点滅し、残り時間が表示されます。

   Recording...　Remain −00:00:59　ST　050/098　−0:00:09　残り時間表示

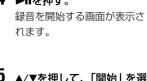
   - メモリーが一杯になると、自動的に録音が止まり、「ピピピピ」という警告音が鳴り、「メモリーが一杯です」が表示されます。録音を続けるには、不要な用件を消去してください

   ご注意
   - 用件以外のデータが保存されている場合、それを除いた空き容量残量が表示されます。録音可能な残り時間は、残り時間表示モードで確認することができます。なお、録音中でもメニューで表示モードの切り換えができます。
   - メニューで「ビープ」を「OFF」に設定しているときは、ビープ音は鳴りません。
10. **用件リスト**
    フォルダ内の用件のタイトル画像が一覧表示されます。最初に撮影されたブックマークまたは用件の最初のブックマークがタイトル画像になります。ブックマークに画像が保存されていない場合は「 VOICE」アイコンが表示されます。
11. **ブックマークリスト**
    用件に追加されているブックマークが一覧表示されます。
12. **再生スライダー**
    1用件の再生位置または停止位置を示します。ブックマークが追加されている位置にはIが表示され、再生、停止位置の前のブックマークの位置には▼が表示されます。
13. **画像サイズ表示**
    メニューで設定されている画サイズが表示されます。
14. **ズーム倍率表示**
    現在のズーム倍率を表示します。ライブビュー起動時にT側（望遠）に▶▶Iを押して画像を拡大、W側（広角）にI◀◀を押して画像を縮小することができます。

▶いろいろな録音のしかた

用件に音声を追加する –アフレコ

画像のみの用件に音声を追加することができます（アフレコ）。

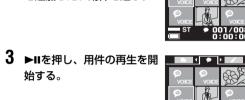
ご注意
- 音声が録音されている用件には、音声を追加することはできません。
- メモリー残量が少ない場合、音声を追加できないことがあります。詳しくは、「故障かな？」をご覧ください。

1 **回転レンズを●（HOLD解除／カメラオフモード）の位置まで廻す。**

2 **▲/▼/◀/▶ を押し、音声を追加したい画像のみの用件を選ぶ。**

3 **MENUを1秒以上押し、▼/▲を押して「アフレコ」を選ぶ。**

4 **▶IIを押す。**
録音を開始する画面が表示されます。

5 **▲/▼を押して、「開始」を選び、▶IIを押す。**
メニューが終了し、録音が始まります。録音について詳しくは「画像を撮影しながら用件を録音する」をご覧ください。録音中に、ブックマークを追加することもできます。

録音を停止するには
■（停止）を押します。

用件を再生しながら画像を撮影する–ブックマーク追加

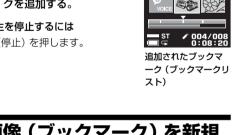
すでに録音済みの用件を再生しながら、画像を追加することができます。

ご注意
- すでに用件に最大数のブックマークが追加されている場合は、画像をブックマークとして追加することはできません。
- メモリー残量が少ない場合、画像を追加できないことがあります。詳しくは、「故障かな？」をご覧ください。

1 **画面カバーを開け、回転レンズを●（HOLD解除／カメラオフモード）まで廻す。**

2 **▲/▼を押し、ブックマークを追加したい用件を選ぶ。**

3 **▶IIを押し、用件の再生を開始する。**

4 **回転レンズを「カメラオン」または任意の角度まで廻す。**
ライブビューが表示され、画像の撮影ができるようになります。

5 **画像を追加したい時点でCAPTUREを押す。**
画像がブックマークとして追加されます。

ライブビューを起動するには
画面からライブビューが消えているときは、（カメラ）を押してライブビューを表示します。

6 **手順を繰り返しブックマークを追加する。**

追加されたブックマーク（ブックマークリスト）

再生を停止するには
■（停止）を押します。

画像（ブックマーク）を新規用件として撮影する –画像のみの用件

停止中に画像を撮影し、画像（ブックマーク）を音声なしの画像のみの新規用件として記録できます。この場合、1用件につき1画像のみを保存できます。音声は後から追加することもできます（「用件に音声を追加する–アフレコ」）。

ご注意
メモリー残量が少ない場合、すでに最大用件数が保存されている場合は、画像を保存できないことがあります。詳しくは、「故障かな？」をご覧ください。

1 **画面カバーを開け、回転レンズを「カメラオン」、または任意の角度まで廻す。**
ライブビューが表示され、画像の撮影ができるようになります。

2 **CAPTUREを押して、画像を撮影する。**
画像が音声なしの新規用件として保存されます（画像のみの用件）。
画像は、用件リストではタイトル画像として、ブックマークリストではブックマークとして表示されます。

自分を撮影する–セルフモード

カメラレンズを手前に向けて、自分撮りができます。

画面カバーを開け、回転レンズをぐるっと最後の位置、「カメラオン（セルフ）」まで廻す。
レンズが手前に向き、ライブビューが表示され、画像の撮影ができるようになります。

デジタルズーム機能を使う

デジタル処理により画像を拡大することができます。

ライブビュー表示時に⏮/⏭を押す。

⏭：押す度に画像が拡大します（4倍まで）。ズーム倍率表示がW側（広角）に移動します。

⏮：押す度に画像が縮小します（等倍まで）。ズーム倍率表示がT側（望遠）に移動します。

ちょっと一言
マクロ撮影時もデジタルズーム機能がお使いになれます。

近接撮影をする– マクロ撮影

小さな被写体に接近して撮りたいときは、近接（マクロ）撮影をします。

ライブビュー表示時にマクロスイッチを「🌷」（マクロ）にセットする。
画面に「🌷」（マクロ）が表示されます。

通常の撮影モードに戻すには
マクロスイッチを「●」位置にします。画面から「🌷」（マクロ）が消えます。

ご注意
近接撮影以外では通常の撮影モードで撮影をおこなってください。

▶いろいろな再生のしかた

ブックマークや用件を検索する

表示を切り換え、用件やブックマークを検索して、再生する用件や再生開始位置を指定することができます。

フォルダの階層構造について
ICレコーダー内のフォルダ構造は次のように、各フォルダ内に用件が保存され、各用件にブックマークが保存される階層構造になっています。◀/▶ を押して、フォルダリスト（📁）、用件リスト（💬）、ブックマークリスト（✒）の表示を切り換えることができます。

フォルダリスト　用件リスト　ブックマークリスト
FOLDER01 ― 用件1 ― BM1, BM2, BM3, BM4
　　　　　 ― 用件2 ― BM1, BM2
FOLDER02 ― 用件1 ― BM1, BM2, BM3

BM: ブックマーク

表示を切り換えて用件やブックマークを検索する
フォルダリスト（📁）、用件リスト（💬）、ブックマークリスト（✒）の表示を切り換えて、再生、編集する用件やブックマークを選択できます。

1 **フォルダリスト（📁）を表示する。**
フォルダリストが表示されていない場合は、◀を押して表示する。
* 長い名前はスクロールして表示することができます。

フォルダアイコンと名前*

2 **▲/▼を押して、フォルダを選ぶ。**

3 **▶を押す。**
選択したフォルダ内の用件リスト（💬）が表示されます。

4 **▲/▼を押して、用件を選ぶ。**
▲/▼を押したままにすると、高速で検索ができます。フォルダ内の最初または最後の用件まで検索すると、再度同じフォルダ内を検索します。

選択した用件を再生するには
▶IIを押します。

5 **ブックマークを検索するには▶を押す。**
選択した用件内のブックマークリスト（✒）が表示されます。

再生スライダー
現在選択されているブックマークの位置には▼が表示されます。

6 **▲/▼を押して、ブックマークを選ぶ。**
▲/▼を押したままにすると、高速で検索ができます。用件の最初または最後のブックマークまで検索すると次（前後）の用件を続けて検索します。

選択したブックマークを再生するには
▶IIを押します。同じ用件内のブックマークが続けて再生されます。

ブックマークを全画面表示するには
▲/▼を押して、用件リストまたはブックマークリストで画像を選び、DISPLAYを押すと、選択されていたブックマークが全画面で表示されます。
元の表示に戻るには、再度DISPLAYを押します。
（停止中に全画面表示した場合、15秒間操作しないと全画面表示が終了します。）

カウンター表示を切り換える

カウンター表示を切り換えることができます。停止時、録音時、再生時とも、設定しておいたカウンター表示モードになります。

1 **MENUを1秒以上押し、▼/▲を押して「表示設定」を選ぶ。**

2 **▶IIを押す。**
表示設定画面が表示されます。

3 **▲/▼を押して「カウンター表示」を選び、▶IIを押す。**
カウンター表示モード設定画面が表示されます。

4 **▲/▼を押して、以下からカウンター表示モードを選ぶ。**

経過時間
ひとつの用件の中の経過時間を表示します。

残り時間
再生中はその用件の中の残り時間を表示します。録音中、停止中は録音可能な残り時間を表示します。

録音日付*
用件を録音した日付けを表示します。

録音時刻**
用件を録音した時刻を表示します。

* 時計を合わせていない場合は「--y--m--d」と表示されます。
** 時計を合わせていない場合は「--:--」と表示されます。

5 **▶IIを押す。**
カウンター表示モードが変更されます。

6 **■（停止）を押して、メニューを終了する。**
通常の画面に戻ります。

ブックマーク間を繰り返し再生する–区間リピート

指定したブックマークと次のブックマークの間の区間を繰り返し再生することができます（区間リピート）。

区間リピートを設定する

1 **MENUを1秒以上押し、▼/▲を押して「再生設定」を選ぶ。**

2 **▶IIを押す。**
再生設定画面が表示されます。

3 **▲/▼を押して「区間リピート」を選び、▶IIを押す。**
区間リピート設定画面が表示されます。

4 **▲/▼を押して「ON」を選び、▶IIを押す。**

5 **■（停止）を押して、メニューを終了する。**
通常の画面に戻ります。リピート再生マーク「⟲」が表示されます。

ブックマーク間を繰り返し再生する

1 **ブックマークリストで、▲/▼を押して繰り返し再生したい区間の先頭のブックマークを選ぶ。**
ブックマークの検索方法については、「ブックマークや用件を検索する」とご覧ください。

2 **▶IIを押す。**
指定したブックマークと次のブックマーク間が繰り返し再生されます。

他の区間を繰り返し再生するには
▲/▼を押して繰り返し再生したい区間の先頭のブックマークを選びます。

リピート再生を停止するには
■（停止）を押します。

通常の再生設定に戻すには
「区間リピートを設定する」の手順4で「OFF」を選びます。

▶用件を編集する

タイトル画像を選ぶ

任意の画像を用件のタイトル画像に設定することができます。

「タイトル画像」とは？
用件リストで表示されるブックマーク画像を、用件の「タイトル画像」と呼びます。
- 用件を録音すると、用件の先頭には自動的に画像なし（サンプル画像付き）ブックマークが追加されます（💬 VOICE）。用件録音中にブックマークを追加しない場合は、先頭のサンプル画像付きのブックマークが用件のタイトル画像として用件リストに表示されます。

サンプル画像付きブックマーク
用件
用件の録音を開始する。

- 録音中に画像を撮影し、ブックマークを追加した場合は、最初に撮影したブックマーク画像がタイトル画像として用件リストに表示されます。

サンプル画像付きブックマーク　ブックマーク*　ブックマーク
用件
用件の録音を開始する。　画像を撮影する。　画像を撮影する。
*タイトル画像として用件リストに表示される。

タイトル画像は次の手順で変更することができます。

1 **▲/▼を押し、タイトル画像を変更したい用件を選ぶ。**

2 **MENUを1秒以上押し、▼/▲を押して「表示設定」を選ぶ。**

3 **▶IIを押す。**
表示設定画面が表示されます。

4 **▲/▼を押して「タイトル画像」を選び、▶IIを押す。**
タイトル画像の選択画面が表示されます。

5 **▲/▼を押して用件のタイトルに設定したい画像を選ぶ。**

6 **▶IIを押す。**

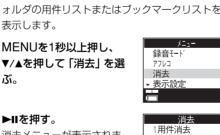
7 **■（停止）を押して、メニューを終了する。**
選択した画像が用件のタイトルとして表示されます。

フォルダアイコンや名前を編集する

フォルダのアイコンや名前（タイトル）を自分で設定することができます。

☞ テンプレートに登録されているフォルダアイコンとフォルダ名について
テンプレートとして用意されているフォルダアイコンとフォルダ名は連動しています。最初にフォルダアイコンまたはフォルダ名を選ぶ時のみフォルダアイコンと連動したフォルダ名、またはフォルダ名と連動したアイコンがそれぞれ選ばれます。再度選択し直した場合は連動しません。連動するフォルダ名のない、アイコンだけのフォルダもあります。

スケジュール、会議、メモ、出張、講義、研修、スピーチ、アクション、プライベート、アイデア、買い物、歌、旅行、レッスン、伝言、出費、市場調査、展示会、取材、スポーツ、デート、パーティー、語学学習、インタビュー

フォルダアイコンを変更する

フォルダには自動的にアイコン（📁）が付いていますが、テンプレートとして用意されているアイコンに変更することができます。

1 **アイコンを変更したいフォルダを選ぶ。**

2 **MENUを1秒以上押し、▼/▲を押して「フォルダ設定」を選ぶ。**

3 **▶IIを押す。**
フォルダ設定画面が表示されます。

4 **▲/▼を押して、「フォルダアイコン」を選び、▶IIを押す。**
フォルダアイコンの選択画面が表示されます。

5 **▲/▼/◀/▶を押してアイコンを選ぶ。**
押した方向にカーソル（反転表示）が移動します。▲/▼ に押し続けると、ページ送り、戻しができます。

6 **▶IIを押す。**

7 **■（停止）を押して、メニューを終了する。**
設定したフォルダアイコンと連動するフォルダ名が確定します。

ご注意
フォルダアイコンによっては、連動するフォルダ名がない場合があります。また、編集し直した場合は連動しません。

フォルダ名を付ける

フォルダには自動的に「FOLDER03」などのように数字とアルファベットでナンバリングされた名前（タイトル）が付いていますが、あらかじめ用意されているテンプレートを選択することで、お好みのフォルダ名を付けることができます。

1 **名前を変更したいフォルダを選ぶ。**

2 **MENUを1秒以上押し、▼/▲を押して「フォルダ設定」を選ぶ。**

3 **▶IIを押す。**
フォルダ設定画面が表示されます。

4 **▲/▼を押して、「フォルダ名」を選び、▶IIを押す。**
フォルダ名の選択画面が表示されます。

5 **▲/▼を押して、選択したいフォルダ名を選び、▶IIを押す。**

6 **■（停止）を押して、メニューを終了する。**
設定したフォルダ名と連動するフォルダアイコンが確定します。

ご注意
付属のソフトウェア「Visual and Voice Editor」を使ってパソコン上でフォルダの名前（タイトル）を入力することも可能です。詳しくは「Visual and Voice Editor」ヘルプをご覧ください。この場合、全角や漢字、かなのタイトルの設定もできますが、本機で対応していない一部の特殊文字は文字化けまたは空白になることがあります。

用件やブックマークを消去する

ご注意
- 一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- 用件を消去すると、用件に登録された音声と画像（ブックマーク）データも消去されます。

用件を1件ずつ消去する

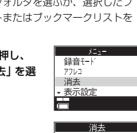
消したい用件だけ消去できます。
用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

消去前
3件目を消去する
用件1 用件2 用件3 用件4 用件5
用件1 用件2 用件3 用件4
消去後　用件の番号が繰り上がる

1 **MENUを1秒以上押し、▼/▲を押して「消去」を選ぶ。**

2 **▶IIを押す。**
消去メニューが表示されます。

3 **▲/▼を押して、「1用件消去」を選び、▶IIを押す。**
用件リストが表示されます。手順1でMENUを押す前に選択していた用件が表示されています。選択されている用件の最初と最後が確認のため繰り返し再生されます。

4 **▲/▼を押して消去する画像を選び、▶IIを押す。**
確認画面が表示されます。

5 **▲/▼を押して、「Yes」を選び、▶IIを押す。**
用件が消去されます。

6 **■（停止）を押して、メニューを終了する。**
消去した用件以降の用件番号が繰り上がります。（例えば、用件3を消去した場合、用件4だったものが用件3になります。消去が完了すると、消去した用件の次の用件の頭で停止します。）

途中で消去をやめるには
手順5の前に■(停止)を押します。

フォルダの中身を一度に消去する

1つのフォルダの中のすべての用件を一度に消去することができます。

1 **用件を一度に消去したいフォルダを選ぶ。**
フォルダリストでフォルダを選ぶか、選択したフォルダの用件リストまたはブックマークリストを表示します。

2 **MENUを1秒以上押し、▼/▲を押して「消去」を選ぶ。**

3 **▶IIを押す。**
消去メニューが表示されます。

4 **▲/▼を押して、「フォルダ内全消去」を選び、▶IIを押す。**
消去の実行画面が表示されます。

5 **▲/▼で「Yes」を選び、▶IIを押す。**
フォルダ内の用件が消去されます。フォルダ自体は消去されません。

6 **■（停止）を押して、メニューを終了する。**

途中で消去をやめるには
手順4の前に■(停止)を押します。

ご注意
消去する用件数が多い場合は時間がかかる場合があります。

ブックマーク間を消去する–区間消去

ブックマークを指定して、指定したブックマークと次のブックマークの間の部分を消去できます。

消去前
ブックマーク2を指定し、ブックマーク2-3間を消去する。
BM1 BM2 BM3 BM4
BM1 BM3* BM4
消去後
* ブックマーク2と3のいずれかの画像をブックマーク3の画像として残します。

1 **区間消去をしたい用件を選ぶ。**

2 **消去したい区間にブックマークがない場合には、消去をしたい区間の最初と最後の位置にブックマークを追加する。**
ブックマークの追加方法については、「用件を再生しながら画像を撮影する–ブックマーク追加」をご覧ください。

3 **MENUを1秒以上押し、▼/▲を押して「消去」を選ぶ。**

4 **▶IIを押す。**
消去メニューが表示されます。

5 **▲/▼を押して、「区間消去」を選び、▶IIを押す。**
ブックマークリストが表示されます。手順3でMENUを押す前に選択していたブックマークが表示されています。選択されている区間の最初と最後が確認のため繰り返し再生されます。

6 **▲/▼を押して消去する区間の先頭のブックマークを選ぶ。**

7 **▶IIを押す。**
消去後のブックマークとして残す画像を選ぶ画面が表示されます。区間の先頭と最後のブックマーク画像のうち、いずれか1つを選びます。

ご注意
選択した区間のブックマークに画像なしブックマークが含まれている場合は、画像選択画面（手順7-9）は表示されません。画像ありブックマークが残ります。

8 **▲/▼を押してブックマークとして残す画像を選択し、▶IIを押す。**
消去の確認画面が表示されます。

9 **▲/▼を押して、「Yes」を選び、▶IIを押す。**
選択した区間が消去されます。指定した画像は新しくブックマーク画像として保存されます。

10 **■（停止）を押して、メニューを終了する。**

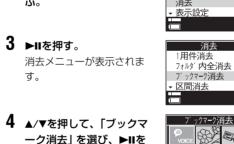
ご注意
- 用件の最後のブックマークを区間の先頭ブックマークとして指定すると、エラーメッセージが表示されます。
- 指定した区間の一方のブックマークがサンプル画像のブックマークの場合は、もう一方の撮影した画像ブックマークが自動的に新しいブックマーク画像として残ります。

ブックマークを消去する

用件に追加したブックマークを消去できます。

1 **ブックマークを消去をしたい用件を選ぶ。**

2 **MENUを1秒以上押し、▼/▲を押して「消去」を選ぶ。**

3 **▶IIを押す。**
消去メニューが表示されます。

4 **▲/▼を押して、「ブックマーク消去」を選び、▶IIを押す。**
ブックマークリストが表示されます。
手順2でMENUを押す前に選択していたブックマークが表示されています。選択されているブックマークの最初と最後が確認のため繰り返し再生されます。

5 **▲/▼を押して消去するブックマークを選ぶ。**

6 **▶IIを押す。**
確認画面が表示されます。

7 **▲/▼を押して、「Yes」を選び、▶IIを押す。**
ブックマークが消去されます。

8 **■（停止）を押して、メニューを終了する。**

ご注意
- 画像のみの用件を指定した場合、用件自体が消去されます。
- 用件の先頭にある画像ブックマークを指定した場合、サンプル画像付きのブックマークが代わりに追加されます。
- 用件の先頭にあるサンプル画像付きのブックマークは消去できません。

▶その他の機能

メモリーを初期化する

本機のメモリーをフォーマット（初期化）することができます。フォーマットすると、メモリー内に記録されたデータは、本機で録音した用件（音声と画像）以外のデータもすべて消去されますので、事前に内容を確認してください。

1 **MENUを1秒以上押し、▼/▲を押して「フォーマット」を選ぶ。**

2 **▶IIを押す。**
フォーマット実行画面が表示されます。

3 **▲/▼を押して、「実行」を選び、▶IIを押す。**
確認画面が表示されます。

4 **▲/▼で「Yes」を選び、▶IIを押す。**
メモリーが初期化されます。

5 **■（停止）を押して、メニューを終了する。**
フォーマットをすると、自動的にフォルダが5つ（FOLDER01～05）作成されます（お買い上げ時と同じ状態です）。

途中でフォーマット（初期化）を中止するには
手順3で「キャンセル」または手順4で「No」を選びます。

パソコンとつないでVisual and Voice Editorを使う

パソコンと本機を接続し、付属のアプリケーションソフトウェアVisual and Voice Editorをインストールすると、以下の操作ができます。詳しくは、Visual and Voice Editorの取扱説明書をご覧ください。
- 本機で録音した用件をパソコンのハードディスクに保存する。
- パソコンに保存した用件を本機に転送する。
- 用件をパソコンで、再生、表示、編集する。
- ブックマークを編集する。
- パソコンに取り込んだ用件を電子メールに添付して、声のメールを送る。
- 音声認識ソフトウェア（別売り）と組み合わせて音声を文字化する。

接続する

付属のUSBケーブルで、パソコンのUSBコネクターと本機のUSB端子を接続します。

パソコンと接続すると、本機の画面には「PC接続中」と表示され、パソコンで本機を認識できるようになります。

ご注意
- 本機のメモリーの中身をWindowsのエクスプローラなどで表示することができますが、用件をパソコン上で再生・編集するときは、必ず付属のアプリケーションソフトウェアVisual and Voice Editorをお使いください。
- 用件を直接Windowsエクスプローラのウィンドウ上へドラッグ&ドロップしないでください。本機で認識できなくなります。
- パソコンに接続するときは本機でアクセス表示をしていないことを確認してください。

本機の時計を自動で設定する
メニューで「時計設定」を「自動」にしているときは、Visual and Voice Editorの起動時にパソコンに接続すると、本機の時計は自動的にパソコンの時計に合わせて設定されます。

必要なシステム構成

Visual and Voice Editorを使うためには、次のようなハードウェア、ソフトウェアが必要です。

■ 以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機
- CPU：450 MHz以上のPentium® IIIプロセッサもしくは同等の性能を有するプロセッサ（NEC PC-98シリーズとその互換機、自作PCでは動作保証いたしません。Macintoshには対応していません。）
- RAM 容量：128 M バイト以上（256 Mバイト以上を推奨）
- ハードディスクの空き容量：70M バイト以上（音声データの扱い量に比例して多くの空き容量が必要です。）
- ドライブ：CD-ROMドライブ（インストール時）
- 通信ポート：USB
- サウンドボード：Sound Blaster 16 互換
- ディスプレイ：ハイカラー（16 ビットカラー）以上、800 x 480 ドット以上

■ OS：Microsoft Windows® XP Media Center Edition 2005/Windows® XP Media Center Edition 2004/Windows® XP Media Center Edition/Windows® XP Professional/Windows® XP Home Edition/Windows® 2000 Professional/Windows® Millennium Edition/Windows®98 Second Edition標準インストール（日本語版）
（Windows®95、Windows®98、Windows® NTには対応していません。）

誤操作を防止する–ホールド機能

誤動作を防止するには、回転レンズを廻し「HOLD」位置に合わせます。「HOLD」が3秒表示された後、画面が消えます。すべてのボタンが操作できなくなります。
- 録音／再生時：録音、再生は継続しますが、ボタン操作はできません。ライブビューを起動していた場合は終了します
- 停止時：低電力待機モードになります。

ご注意
回転レンズを「HOLDオン」にし、メッセージが表示されてから約3秒後に画面が消えます。

ホールドを解除するには
回転レンズを「HOLDオン」から他の位置（HOLDオフ/カメラオフ、カメラオン、カメラオン（セルフ））まで廻します。

▶その他

使用上のご注意

ご使用場所について
- 運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

ACパワーアダプターについてのご注意
- 本機に付属のACパワーアダプターをご使用ください。本機に付属している以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACパワーアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したACパワーアダプターは危険ですので、そのまま使用しないでください。

取り扱いについて
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
–温度が非常に高いところ（60℃以上）。
–直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
–窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
–風呂場など湿気の多いところ。
–ほこりの多いところ。

ノイズについて
- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ
- 本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

液晶画面をきれいにする
- 液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、付属のキャリングポーチの内側または眼鏡拭きなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。

レンズをきれいにする
- レンズに指紋やゴミがついて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

結露について
- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは
- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするためには
本機を寒いところから急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは
電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、パーソナルオーディオ·カスタマーサポートページをご覧いただくか、お客様ご相談センターまでお問い合わせください。なお、修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

操作ボタンを押しても動作しない。
- 電池が消耗しています。電池を充電してください。
- 回転レンズが「HOLD」にセットされています。(ボタンを押すと「HOLD」表示が3秒表示されてから消えます。)

スピーカーから音が出ない。
- イヤーレシーバーが差し込まれている。
- 音量が絞られている。

イヤーレシーバーをつないでいても、スピーカーから音が出る。
- 再生中にイヤーレシーバーを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。
→いったんイヤーレシーバーを抜いて、最後までしっかり差し込む。

録音できない。
- メモリーがいっぱいになっている。
→不要な用件を消去する。または、パソコンと接続し、付属のVisual and Voice Editorを使ってパソコンに用件を保存する。
- 選んだフォルダに99件録音されている。
→別のフォルダを選ぶか、不要な用件を消去する。

画像が撮影できない
- 回転レンズがカメラが使えない位置になっている。
→「カメラオン」、または「カメラオン（セルフ）」の位置まで廻す。

アフレコで音声を追加できない。
- メモリー残量が不足している場合は録音できません。
- 用件にすでに音声が録音されている場合は、アフレコで音声を追加することはできません。

音声が途切れて録音される。（他の機器をつないで録音しているとき）
- 本機への入力に、抵抗なしオーディオコードを使用すると、音声が途切れて録音されることがあります。
→抵抗入りのオーディオコードを使う。

雑音が入る。
- 録音中に画面カバーの開閉を行うと、開閉音が録音されてしまうことがあります。
- 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。
- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 外部マイクで録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。→プラグをきれいにクリーニングする。
- イヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーのプラグが汚れている。
→プラグをきれいにクリーニングする。
- 画像を撮影するときに、こすり音や操作音で音切れすることがあります。
→エレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-CS10（別売り）をご使用になりますと改善します。

録音レベルが小さい。
- 小さな音が聞きづらいときは、デジタルボイスアップ再生をすると聞き取りやすくなる場合があります。

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。
- メニューの「DPC」が「ON」になっているため、設定した再生スピードで再生されている。
→DPCを「OFF」にする。

「--y--m --d」または「--:--」が表示される。
- 時計を合わせていない。
- 時計を合わせていない時に録音した用件には、録音した日付は表示されません。

メニュー表示の項目が足りない。
- 再生、または録音中は、表示されないメニューがあります。

フォルダタイトルや用件タイトルが空白になってしまう。
- 付属のソフトウェアVisual and Voice Editorを使ってパソコンでタイトルを入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けまたは空白になることがあります。

ICレコーダーに表示される残り時間が、付属のVisual and Voice Editorでのパソコン上での残量表示より短い。
- ICレコーダーではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、「Visual and Voice Editor」での残量表示と異なる場合があります。

最大録音時間まで録音できない。
- STモード、STLPモード、SPモード、LPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はSTモードとLPモードの最大録音時間の間になります。
- 用件以外のデータが入っている。
- 最小録音単位があるため、用件の数が多いと、端数が出ることにより実際の録音可能時間が最大録音時間より短くなることがあります。
- 最小録音単位より長い用件の場合でも、端数が出た場合は、同様に実際の録音時間よりも多く残り時間が減ることがあります。
- ひとつのフォルダ内で、99件を超えると、それ以上用件は録音できません。
- 以上の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「残り時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。

電池の持続時間が短い。
- 電池の持続時間は、音量ボタンが中間レベル付近で内蔵スピーカーで再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。

CHG（充電）ランプが赤く点滅し充電ができない。
- 充電動作温度を越える範囲の温度環境で充電している。→+5℃～+35℃の範囲でお使いください。

「アクセス」表示が消えない。
- 用件数が多いと、長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。

正常に動作しない。
- RESETボタンでシステムをリセットする。

パソコンと接続できない。
- Visual and Voice Editorの取扱説明書をご覧ください。

エラー表示一覧

エラーが表示されたら、下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、パーソナルオーディオ·カスタマーサポートページをご覧いただくか、お客様ご相談センターまでお問い合わせください。なお、修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。
画面カバーを閉じた状態でエラーが表示された場合はカバーをあけてメッセージを確認してください。

電池が残りわずかです
- 電池が消耗しています。充電してください。電池残量が少ないと消去やフォーマットが行えません。

ブックマークがあります
同じ場所に複数のブックマークは追加できません。

カメラが動きません
- カメラが故障しているため、ライブビューを起動できません。

カメラを回転してください
- 画像を撮影するには、回転レンズを「カメラオン」、または「カメラオン（セルフ）」の位置まで廻してください。

再生できません
- ファイルまたはフォルダが過って消去されているため再生できません。

充電してください。
- 電池が消耗しています。充電してください。

ファイルが壊れています／フォルダがありません
- WindowsのエクスプローラでICレコーダーのフォルダを消去後、そのフォルダ内の用件を再生しようとしたときに表示されます。フォルダを消去するときは、Visual and Voice Editorを使ってください。
- WindowsのエクスプローラでICレコーダーのフォルダを消去後、そのフォルダ内に用件を保存しようとしたときに表示されます。本機のフォーマット機能を使って、初期化を行ってください。または、Visual and Voice Editorを使ってフォルダを消去してください。

フォルダ内の用件が一杯です
- フォルダ内の用件の合計数が99件を超えているため、用件を追加できません。いくつか用件を消去するか他のフォルダに移動してからやり直してください。

用件／ブックマークが一杯です
- すでに最大用件数、最大ブックマーク数を超えています。不要な用件やブックマークを消去してください。

メモリーが一杯です
- メモリーの残量が足りないため、録音、撮影できません。いくつか用件を消去してからやり直してください。

本機でフォーマットが必要です
- 本機以外の機器で初期化された場合、お使いになれません。本機の「フォーマット」機能を使って初期化してください。

消去に失敗しました／消去できません
- 何らかの理由で消去ができませんでした。

音声があります
- 音声がすでに録音されている用件には、音声をアフレコ録音することはできません。

用件／ブックマーク／音声がありません。
- 選んだ用件フォルダには1件も用件が録音されていません。または、選んだ用件にはブックマークが1件も追加されていません。用件またはブックマークが保存されていないと、本機の編集機能はお使いになれません。

電源異常です
- 指定以外、または故障したACパワーアダプターを使用しています。本機が故障する場合がありますのですぐにはずしてください。付属のACパワーアダプターまたは電池でご使用ください。

故障です
- システムエラーが発生したか、またはファイルが壊れているため、メモリーアクセスができません。

時計を設定してください
- お買い上げの後、時計設定されていない場合または電池残量がなくなったまま長時間お使いにならなかった場合に表示されます。時計設定をしてください。

システムをリセットする

本機が正常に動作しなくなった場合、先の細い棒でRESETボタンを0.5秒以上押します。

RESET

ご注意
動作中リセットした場合、データについては保証できません。

主な仕様

ICレコーダー

録音方式
　内蔵フラッシュメモリー 256 MB使用、ステレオ、モノラル録音
最大録音時間
　ST:　約11時間30分
　STLP:　約22時間5分
　SP:　約35時間
　LP:　約93時間30分
周波数範囲
　ST:　60～13,500 Hz
　STLP:　60～7,000 Hz
　SP:　60～7,000 Hz
　LP:　80～3,500 Hz
再生スピード調節（DPC）
　＋100%～–50%

カメラ

画像ファイル記録形式　JPEG
画素数
　1,280 x 960 画素（約1,340,000画素）
画像サイズ
　1,280 x 960 画素
　640 x 480 画素
撮像素子
　5.00 mm（1/3.6 型）カラーCCD、原色フィルター
カメラ総画素数
　1,360 x 986 画素（約1,340,000 画素）
カメラ有効画素数
　1,308 x 976 画素（約1,280,000 画素）
レンズ　焦点距離
　f=4,3mm、水平画角49.5度
F値 4
推奨撮影距離
　30cm ～∞（マクロ撮影時：12cm）

その他

スピーカー　直径 23mm
液晶画面パネル
　1.2インチD-TFD液晶パネル、RGB、64階調、262,144色
入・出力端子
　マイク（ステレオミニジャック）
　　プラグインパワー対応
　ヘッドホン（ステレオミニジャック）
　　負荷インピーダンス、8～300Ω
　USB端子
　DC IN 6Vジャック
動作温度
　-10℃～+45℃（録音/再生時）
　+5℃～+35℃（充電時）
電源
　DC 6V、800mA、充電式リチウムイオン電池
最大外形寸法
　約45.8×101.2×23.5 mm（幅／高さ／奥行き）
　最大突起部含まず
質量　99g
付属品
　ACパワーアダプターAC-ES608K（1）／イヤーレシーバー（1）／キャリングケース（1）／パソコン用アプリケーションソフト（CD-ROM）（1）／USBケーブル（1）／取扱説明書（本体用 1、アプリケーションソフト用 1）／早分かりカード（1）／保証書（1）／ソニーご相談窓口のご案内（1）／ICD知っ得Q&A（1）／Visual and Voice Editor知っ得Q&A（1）／音声認識の手引き（1）
別売アクセサリー
　インナーイヤーレシーバー MDR-EX71SL、MDR-E931LP／アクティブスピーカー SRS-T88、SRS-T80／エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-CS10、ECM-TL1／オーディオコード RK-G134/G135/G136/G139（接続方法については、別紙の「ICD知っ得Q&A」をご覧ください。）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お客様ご相談センター、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。
- **ホームページで調べるには→パーソナルオーディオ·カスタマーサポートへ**
（http://www.sony.co.jp/support-pa/）
ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話·FAXでのお問い合わせは→お客様ご相談センターへ（下記電話·FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［オーディオ］–［ウォークマン］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    – 型名：ICD-CX50
    – シリアルナンバー：機銘ラベル
    – ご相談内容：できるだけ詳しく
    – お買い上げ年月日

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ
● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/
お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX …………………… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。
ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1